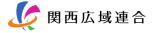


関西広域連合構成府県・市政記者クラブ配布

資料提供			
月日	発表者	問合せ先	
		電話番号	担当者
平成28年11月30日 (水) 午後2時	関西広域連合本部事務局企画課	06-4803-5587	坂田・田中

関西広域連合設立6周年を迎えて

関西広域連合が平成28年12月1日で設立6周年を迎えるにあたり、本日、別添のとおり 関西広域連合長のコメントを発表しました。



関西広域連合設立6周年を迎えて

関西の復権と創造をめざし、「地方分権改革の実現」、「関西における広域行政の展開」、「国からの事務権限の移譲の受け皿づくり」を掲げ、平成22年12月に設立した関西広域連合は6年を迎えました。

熊本地震及び鳥取県中部地震からの復旧・復興への支援、訪日外国人観光客の関 西誘致を推進する母体づくりをめざした「関西国際観光推進本部」の設立、地方創 生の深化に不可欠な広域連携を緊急的かつ集中的に実施するための「関西創生戦略」 の策定、政府機関等の移転における文化庁の移転・消費者庁及び総務省統計局の新 拠点設置の決定など、着実に成果を上げてきました。

現在、策定を進めている第3期広域計画で掲げる関西の将来像「国土の双眼構造を実現し分権型社会を先導する関西」、「個性や強みを活かして人の環流を生み出し地域全体が発展する関西」、「アジアのハブ機能を担う新首都・関西」を目指し、7つの広域事務、構成団体の連携・協働による政策の企画調整や分権型社会の実現への取組を今後とも展開していきます。

また、ラグビーワールドカップ2019や2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えた誘客促進、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催支援、「2025日本万国博覧会」の大阪・関西への誘致など、連続するビッグイベントについても、より一層の官民連携を図りながら戦略的な取組を進めます。

「関西は一つ一つ」という多様性を活かしながら「関西は一つ」であるとの理念のもと、双眼構造の一極を担うための取組を一丸となって進め、活力ある関西の創造に邁進します。

平成28年12月1日

関西広域連合長(兵庫県知事)

井 戸 敏 三